



根堀台だより

平成29年4月21日

第 10 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

決意を胸に勝負 春季大会決意表明



サッカー部主将



ソフトボール部主将

4月20日(木)の放課後、「春季大会決意表明」の集会を行いました。今回は各部活のキャプテンが、土曜日からは始まる春季大会にかける「意気込み」や「目標」、「抱負」について語ってくれました。

野球部は「相手の大内中のピッチャーは全県でも有名な好投手だけれどチームプレイ



気合いの入った校歌

で最後まで諦めないで頑張ってきます。」、サッカー部は「チーム一丸となって強豪仁賀保中を倒して県大会に行きます。」、バレーボール部は「攻守に力を尽くし、ベスト4に入る強いチームとの戦いに勝ってきます。」、ソフトボール部は「昨年合同チームとして仲間だった北中が相手だけれど負けません。」、テニス部は「団体戦では1番手・2番手が勝たなければならないので頑張ります。」、剣道部は「中学校に入って初めての試合で緊張するけど、少しでも上位にいけるよう頑張ります。」とそれぞれ抱負を語ってくれました。どの部活の決意表明も、試合前の緊張感が伝わってくるものばかり

でした。3年生にとっては最上級生になって初めての試合となります。最後の総体へと続くこの春季大会の「重さ」、そして3年生になったからこそ、先輩たちの部活動にかける「想い」が初めて我が事として実感できたのではないのでしょうか。

激励の挨拶の中で「自分のベストゲームをあげるとしたら、どの試合ですか」と聞きましたが、少数の生徒しか手が上がりませんでした。もしこれまで「全力を尽くした」という実感がないから「ベスト」と言えないとしたら、選手も、応援する者も、今一度自分の姿勢を振り返り、強い気持ちをもって明日からの試合に臨んで下さい。

試合は「真剣勝負」です。気持ちが全てのプレイを支えていることを忘れないで頑張ってきて下さい。



自然災害への注意を

19日午後6時すぎ、由利本荘市でグラウンドののり面の土砂が大規模に崩れ、市は、付近の44世帯に避難指示や避難勧告を出しました。巻き込まれた人はいないということです。

19日午後6時すぎ、由利本荘市鳥海町下笹子で旧笹子小学校のグラウンドののり面の土砂が幅およそ60メートル高さ40メートルにわたって崩れました。現場には雪がおおよそ30センチ積もっていて、近くの住宅の敷地内には土砂や雪が押し寄せました。

市によりますと、この土砂崩れに巻き込まれた人はいないということですが、建物への被害については、今後確認することになっています。このため市は昨夜から下笹子地区の住民44世帯に避難指示や避難勧告を出しています。

市では、笹子公民館を避難所として開放していて、5世帯16人が一夜を明かしました。

市によりますと避難指示と避難勧告の解除の見通しは立っていないということで、市はけさから現場の状況を確認しています。

由利本荘市では19日、日中の最高気温が14度7分まで上がり、气象台は雪どけによる土砂災害などに注意するよう呼びかけていました。（NHKニュースより）

4月19日（水）の夜、鳥海町での「土砂崩れ」のニュースが入ってきました。閉校になった笹子小学校での出来事だけに大変驚きました。特に、テレビで夜が明けてからの様子を見ると、家の中にまで土砂が入ってきており、復旧作業はかなり長引きそうでした。幸いにも人的な被害はなかったようですが、被災した方々には一日も早く普段の生活に戻れるよう祈っています。

緊急メールでも配信しましたが、由利地域でも同様に「土砂崩れ」が懸念される場所があります。各集落で通学路も含め、地域内の危険箇所などについて再点検していただき、もし気になる場所がありましたら、学校や由利教育学習課までご連絡下さい。

春季大会中の 事故に注意を



明日から始まる春季大会。保護者の皆様には「応援」や「サポート」など大変御難儀をおかけしますが、よろしくお願ひします。

特に、今年から「保護者引率」となった部活動が増えました。この大会期間中は「観桜会」や行楽などで道路もいつも以上に混雑します。子どもさんが後部座席に乗っての移動の場合でも、必ずシートベルトを締めさせて下さい。

また、各会場の駐車場も大変混雑することが予想されます。中でも試合終了直後は、関係者や保護者が車で移動するため大変危険です。バスや車から降りるときは周りをよく見て十分注意することや、絶対に飛び出しをしないよう、クラスでも、部活動でも指導します。是非、ご家庭でも繰り返しご指導頂きますようお願いいたします。